

会津養護学校 進路だより

中学部第一期校内実習の報告

中学部では、第一期の校内実習を9月5日(月)から9日(金)までの一週間の日程で行いました。今回は、製菓班、紙工班、リサイクル1班、リサイクル2班の四つの班で行いました。

製菓班では、クッキー作り、紙工班ではメモ帳作りをしました。リサイクル1班は、ペットボトル、封筒、牛乳パックのリサイクル活動、リサイクル2班は、校内を回り給食の牛乳パックを回収する活動を行いました。まだ残暑厳しい時期でしたが、体調を崩すことなく5日間の実習に取り組むことができました。また、今年度から実習のグループを4班にし、登校から下校まで全てグループで活動する体制で行ったことで、普段の作業学習と実習の違いを感じることができたと思います。

リサイクル1班 ペットボトルリサイクル



製菓班 クッキー作り



リサイクル2班 牛乳パック回収



紙工班 メモ帳作り



保護者の皆様には、リサイクル班で使用しましたペットボトル回収のご協力ありがとうございました。二期の実習に向けて、現在も回収を継続していますので、ご協力よろしくお願いいたします。今回メモ帳班で使用したメモ紙とリサイクルした封筒は北斗印刷さんの提供によるものです。

高等部第二期産業現場等における実習の報告

《高等部第二期産業現場等における実習》

九月一二日から九月二三日までの二週間、高等部三年生を対象に実習を行いました。

卒業を間近の三年生にとって今回の実習は、自分の進路先を決定づけるとても大切な実習となっています。これまでの実習で一つ一つ力を積み重ねてきた三年生ですので、卒業後の進路先が具体的に見えてきています。この後第二期実習(全学年対象)があります。さらに自分の可能性を高め、卒業後も十分に力を発揮できるように支援を継続していきたいと考えておりますので、今後とも保護者の皆様方の御協力をよろしくお願いいたします。



特別養護老人ホーム桐寿苑



カワチ薬品会津若松店



MARC



西会津授産場

関連機関見学研修(教員向け)の報告

「特別支援教育関連機関見学研修」

毎年、夏期休業中に、教職員の研修として会津地域の障がい者福祉サービス事業所を中心とした施設の見学会を行っています。今年度は、七月十二日に実施しました。各事業所の最新情報を得る有意義な研修です。



教員進路セミナーの報告

見学した施設名	種類	主な作業内容
ふくしの家 (神指町)	就労継続支援B型	○企業下請け(菓子箱折り、部品組み立て等)
フォルテ (喜多方市)		○弁当製造、農作業等
ウィズピア (喜多方市)		○弁当製造、清掃等
ハッピーロード (門田町)		○企業下請け(コード磨き)、古布製品
西会津授産場 (西会津町)		○企業下請け(バリ取り、電球加工等)
Mamiyaつどいの家 & プリムローズ (真宮新町)	生活介護	○布雑貨(さをり織り) ○身辺自立支援
Stepボード (塩川町)		○企業下請け(工業製品分解等)
自立サポートセンター桜 (会津坂下町)		○公共清掃、紙ちぎり
ゆうゆうハウス (会津坂下町)		○企業下請け(菓子箱織り、袋詰め等)
あすか (一箕町)	生活介護	○歩行訓練、身辺自立支援
ばんだい荘あおば (猪苗代町)	施設入所生活介護	○身辺自立支援
松本機械工業(株) (塩川町)	一般企業	○工業製品部品製造

八月二十九日(月)、会津養護学校の全職員を対象に『教職員進路セミナー』を実施しました。本校の鈴木龍也教頭より、「児童生徒一人一人の想いを確かにし、自己実現につなげる進路指導のあり方」というテーマで、キャリア教育の捉え方や進路指導の現状と課題、児童生徒一人一人が適切な進路選択をするための小学部段階からの組織的で系統的な指導の在り方等について講義をいただき、教職員にとって有意義なセミナーとなりました。

特別支援教育におけるキャリア教育とは…

『キャリア』はすべての人の「人生」そのもの
児童生徒一人一人の人權を尊重し、夢や願いの実現に向けて生活年齢や発達段階をふまえて、自立と社会参加を推進することを目標に行う教育活動。
それぞれの段階に応じたキャリア発達支援のポイント

〈小学部〉

・「基本的な生活動作・生活習慣」を身につける。(根気強く、一貫した指導)

- ・「生活する力(日常的な活動の全て)」が「働く力」につながる。
- ・「人の役に立つ」「感謝される」ことを経験する。

〈中学部〉

- ・「社会生活能力」と「自己表現力」を育てる。
- ※人とのかわり、実際の生活の中で身につける。
- ※自分の気持ちを表現できるようにする。(自分の気持ちを伝えて分かってもらい、認めてもらう経験、相手の意図を理解する力)できる活動、できるようになった活動を継続しながら自立性を高め夢を具体的に描く。
- ・正しい自己理解を促す支援
- ※自分のできることを、できないことを知る。
- ※自分の良いところ、他人の良いところを伝え合う、認め合う。

〈高等部〉

- ・「夢」から「目標」へ
- ・実際の社会生活で通用する力をつける。
- ※「出来ないことがあった時にどう対処すればよいか」を学ぶ。
- ・卒業後の生活を意識した指導・支援
- ※社会生活への円滑な移行、地域や関係機関との連携
- ・よりよい人間関係を作る。
- ※相手が不快な思いをしないマナーや態度を身につける。



高等部第三期産業現場等における実習について

《高等部第三期産業現場等における実習について》

十一月十四日から二十五日の九日間第三期産業現場等における実習を行います。事業所や企業での実践的な取り組みをとおして、社会生活に必要なことを身に付けたり、自分の課題を知りよりよくなるうとする意識を高めたりする貴重な学習の機会です。有意義な実習となるように、保護者の皆様の御協力をお願いいたします。

(実習を行うにあたって)

1 「安心・安全」な実習を!

「安全」に実施できるように事前の安全確認等をしつかり行いましょう! 実習に当たって通勤経路や危険箇所について事業所と共通理解を図り、安全に通勤できるようにしましょう。

2 基本的なことを大切に!

「あいさつ・返事」「身だしなみ」「約束・時間を守る」等、社会生活で求められる力の第一はごく基本的なことです。当たり前に行えるように日々の生活から心がけましょう。

3 休まず、遅れず出勤する!

休まずに出勤し、継続して作業に取り組むことも社会生活では必要な力です。そのため、体調管理や生活習慣についても考えてみましょう!

